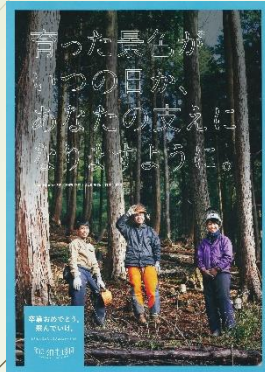


F E C 自給 里山資本主義×協同労働 くらしごと なりわい



森林事業＋猟師＋釣り



生き方、暮らし方、楽しむ
限られた資源の中で足るを知る（地球は有限）

森の百業で森林事業＋木工＋猟師＋農業＋梅＋カヌーなどに挑戦。

ワーカーズコープ山口の取り組み



自分で作って自分で食べる田んぼ

お米は自分たちの食べる分は自分たちで食べる
1人30kgのお米を作れるようになりました。

事業所を里山資本主義化する

Next Green 但馬、リボーンフォレスト登米
田尻アグリワーカーズ



薪をとってきて薪ストーブを焚く。廃食油でハウスを暖める。

里海資本論

- ・ ワーカーズコープ連合会 環境・気候非常事態宣言
- ・ 世界は今、人類史・地球史的な危機が連鎖的に迫り来る只中にある。産業革命以来、社会の構造は激変し、人間の社会文化は一変した。その結果、この社会は持続可能性が危ぶまれる、大きな転換期を迎えている。
- ・ とりわけ気候危機は、このままのペースでは、2030年にも産業革命以前から気温が1.5度上昇し、破局が避けられない事態に至ると危惧され、この10年が人類史・地球史の未来を決する、という認識が国連を始めとする国際的な場において共有されてきた。
- ・ にもかかわらず、それを防ぐ抜本的な行動はとられておらず、世界の若者・子どもたちの、厳しい糾弾の行動が広がっている。私たちは、彼らのアクションに心からの賛同と連帯の意思を表明する。
- ・ 環境と気候の危機は、平和・福祉・教育・地域などの危機と不可分に関わっている。紛争や戦争の危機が再び高まり、とくに日本社会では、酷暑や暖冬、巨大台風と豪雨などに加え、世界に類を見ない少子高齢・人口減少という事態に直面し、社会の存立基盤が問われている。
- ・ これらの危機は何によってもたらされたのか。問われるものは何なのか。
- ・ 化石燃料に依存した大量生産・大量消費・大量廃棄という経済システム。経済の成長こそが豊かさであるとし、人々を分断し、対立させ、格差と貧困・孤立を蔓延させてきた社会。その根源に、人や自然のつながりと共生を破壊してきた「欲望の暴走」と民主主義の危機がある。
- ・ 人間の協同性と共生の文化を、全ての人々の手によって再構築することを抜きに、この危機は乗り越えられない。
- ・ 私たちの文化と社会のあり方、そして、これを維持・発展させるための産業・経済の抜本的な転換が迫られている。
- ・ この中にあって、私たち労働者協同組合は、「労働」のあり方から、仕事と地域、人間と自然を見直し、「協同」の関係と一人ひとりの「主体性」の発揮を両輪とする職場づくり・仕事づくり・そして持続可能な地域づくりを探求してきた。
- ・ こうした自治と協同・共生を育む仕組みを規定する労働者協同組合法が制定されようとしている。
- ・ 人間の根源的な生存条件としての「協同の関係」を社会の隅々に波及させ、「協同労働」の文化を深め広げるために立ち上がるときである。
- ・ 危機から脱却し、新しい価値感を構築するために、私たちは問題のすり替えと先送りを許さず、社会の大転換を多くの人々に呼びかけ、とくに若者や子どもたちと共に行動することを誓う。

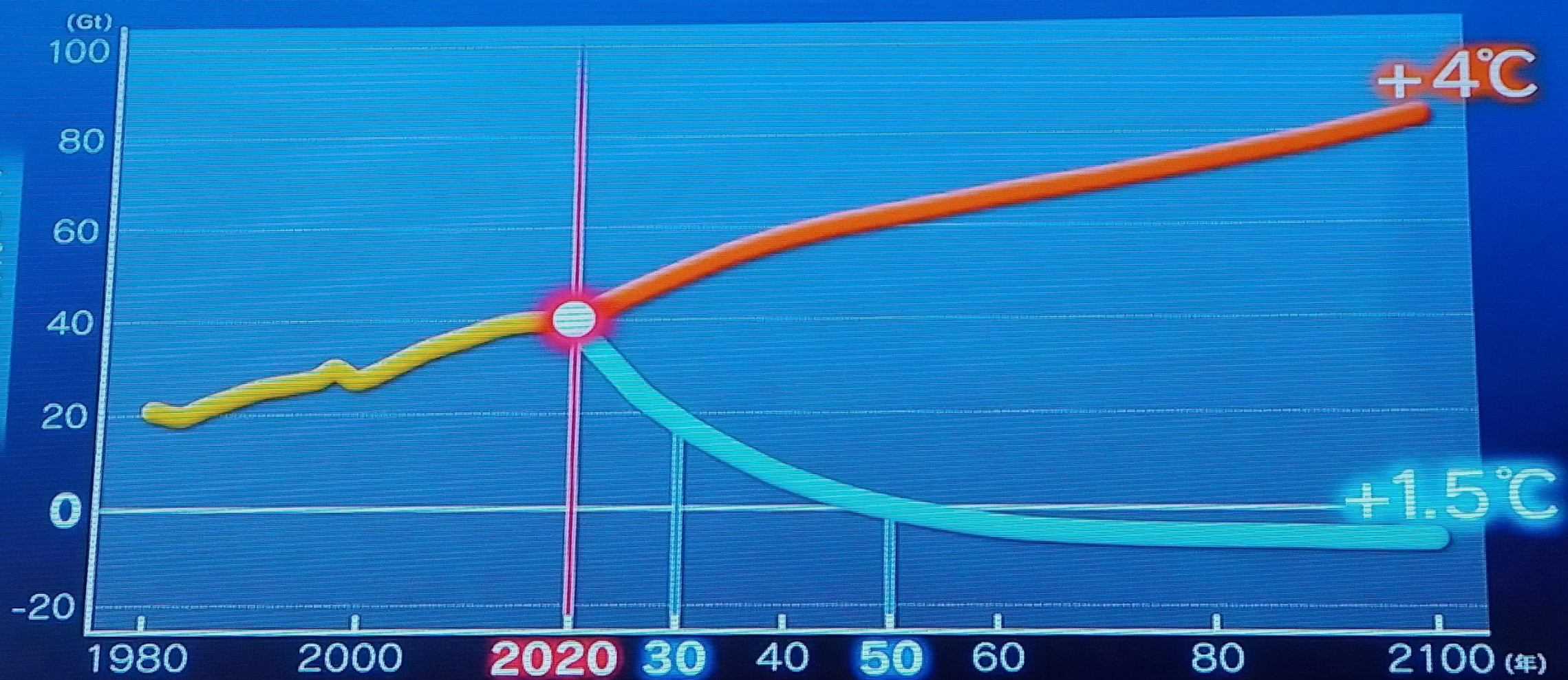
環境・気候非常事態宣言

SDGsの主体者・推進者としてここに宣言する。

- 1.社会のあり方の抜本的な転換を追求し、自らの事業・経営と組合員の生活の中から、地球環境と生態系を守るための行動と、持続可能な地域と社会の実現に全力を尽くす。
- 2.パリ協定の「産業革命以前に比べて1.5度未満に気温上昇を抑える」「CO2排出ゼロ」を基本目標とした事業・産業・経済のあり方を追求する。
- 3.「環境・気候非常事態宣言」を国及び地方公共団体など多くの人々に呼びかけ、共有し、パリ協定に基づく意欲的な目標を設定し、共に行動する。
- 4.「協同の関係」づくりを、「協同労働」の普及を通して、あらゆる分野とテーマの中で創造し、対立と排除のない、平和と共存・共生の文化を広げる。

CO₂排出量と気温上昇

CO₂総排出量



みんな電力 × ワーカーズコープ 戦略的提携について

2018年12月

[エネルギーを突破口としたFECHの事業戦略・地域戦略の検討]

9月の全国事業推進会議以来、電気の地産地消・自給について関心が高まり、各地で電力業者の見直しが始まっており、本部においても「みんな電力」との提携について協議を進めています。

全国代表者会議でも議論された通り、これらの取り組みの基本的な目的は、どこで誰が何でつくったかわからない電気ではなく、顔の見える関係で由来を理解して電力を購入する、そして電気をつくる側にもまわろう、ということです。

最近の新電力会社の中には、安くなることのみを打ち出し、その背景に大手電力会社が全面的にバックアップしているケース、そして化石燃料由来や原発志向を隠しながら営業しているところもあります。この手の話に乗って推進する自治体も出ています。

提携を目指している「みんな電力」の基本コンセプトは、再生可能エネルギー比率の高さと、その電気生産者の開示にあります。私たちの基本姿勢は、まず自分たちの電気代はどこに行くのか、そこに目を向けることを前提に、節約に心掛けることです。



協同の力で誰もが輝く社会を創る
日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会

個人のお宅も
みんな電力に
切り替えられます！

電気を選んで 未来をえがこう。

電気をみんな電力に切り替えるだけで、持続可能な地域づくりのための
自然エネルギー発電所設立を推進し、FECH自給圏の地域づくりを広げることができます。

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会は、みんな電力とパートナーを組み、
地域が主役のエネルギー自治と、持続可能な地域づくりを進めていきます。



こちらからも申し込めます➡ <https://minden.co.jp/personal/entry?introducer=ROUKYOU>

ワーカーズコープの
顔の見える電力
近日、供給開始!

埼玉事業本部 そらまめ



切り替えポイント

- Point ① 再エネ比率が国内トップクラス
2019年度の計画は、FIT電気
(太陽光、風力、水力、バイオマス)比率75%
- Point ② 電気の品質と安定性は
これまでと同じ

みんな電力に切り替えて

そらまめ発電所を 応援しよう!

埼玉のふじみ野市にある「デイサービスそらまめ」は、今年3月に太陽光パネルを設置し、
原発に頼らない、自分たちの生活や暮らしと共存できるエネルギー発電をはじめました。
もしも災害などで停電したときでも、直接コンセントをつなぐことができるため、
今後は地域の防災拠点としても期待されています。

みんな電力に切り替えると、電気を使い、応援する発電所を選ぶことができます。
ワーカーズコープの「そらまめ発電所」も近日中に電力が供給できるようになり、
応援することができるようになります。

みんな電力に切り替えて、「顔の見える電力」として、
「デイサービスそらまめ」を応援しよう!



近日、
電力供給
開始!

お問合せはこちらまで

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会
総合企画開発本部

03-6907-8032

担当:
伊藤・岡安

ワーカーズ発電所Project

みんな電力の特徴「顔の見える電力」WEBページ



ENE^{CT}
THE CHOICE IS YOURS

日本初！「顔の見える電力」が選べて、買える電力小売サービス

読みもの

お申込の流れ

みんな電力の特徴

料金メニュー

よくある質問

powered by みんな電力



選択した発電所



まうちさん▼

「顔の見える電力」発電所一覧

毎月一か所、選んで応援しよう！



join!



ワーカーズ電力
Project

残り 141 名

出力容量 145kW

★★★★★ (0)



千葉県 袖ヶ浦市 永地
あいがも発電所(エコロジア第一
太陽光発電所)
株式会社エコロジア

残り 28 名

出力容量 49.5kW

★★★★★ (0)



東京都 江戸川区 中央
えど・そら3号機 駐車場
特定非営利活動法人足元から
地球温暖化を考える市民ネッ
トえどがわ

残り 17 名

出力容量 22kW

★★★★★ (0)



東京都 八王子市 小比企町
第3号機 かあさん牛のヨーグ
ルト工房発電所
一般社団法人八王子協同エネ
ルギー

残り 15 名

出力容量 19.8kW

★★★★★ (0)



長野県 伊那市 高遠町
高遠さくら発電所/水芭蕉発
電所
長野県企業局

残り 106 名

出力容量 1,160kW

★★★★★ (0)



神奈川県 三浦市 南下浦町
世田谷区みうら太陽光発電所
世田谷区

残り 151 名

出力容量 344kW

★★★★★ (0)

電力契約について

お申込みはこちら

お申込の流れ

みんな電力の特徴
「顔の見える電力」とは？

発電所一覧

料金メニュー

よくある質問

お問い合わせ

WEB明細

読みもの

ひと

ライフスタイル



池袋を走る

イケバス

減災対策に電源車 1 台

- ・ 災害時には電源車となる。電源バッテリーを非常用電源として活用することができ、スマートフォンを約2000～2500台分充電できるだけの性能があるという。
- ・ 「NHKスペシャル巻頭言」
- 減災対策 電源車 1 台 既存のガソリン車でも電源をとるケーブル確保 いけバス。

事業所で備える「モシモ」から「イツモ」



既存のガソリン車でも
電源をとるケーブルを確保しておく



1. 3kw
デンキバンク 75万円



3kw発電機
17万円



火：エコ（キッチン）ストーブ
小枝がなくても炭の配布



石原知事

JR東日本が駅構内から人々を外に出したため
帰宅困難者の混乱を助長したとして抗議



ワーカーズコープ統合本部

環境・気候非常事態宣言を受けた

アクションPlan案

脱化石燃料の統合本部 エコライフスタイルへの道

- ①ペーパーレスと紙のリサイクル、環境印刷の導入、紙ごみも分別(エコ)
- ②会議・集会ではペットボトルからリユース品へ(エコ)
- ③8F食堂の生ごみの堆肥化を機に⇒組合員の家庭の生ごみも堆肥化(ローカル)
- ④免疫力!「ぬか床クラブ」の結成⇒ぬか床から小農ができないか考える(健康)
- ⑤化学繊維からのマイクロプラスチック問題が大きい!⇒学習会の企画(エコ)
- ⑥脱アスкул イツクル(仮) オフィス用カタログづくりで組織内循環
- ⑦WEB会議が恒常的に出来る環境整備(緊急時対応及びエコ)
配信(放送)スタジオ機能の整備
- ⑧森林ワーカーズで竹林整備。竹加工で「すだれ」を窓に。涼しい環境づくり。(スロー)
- ⑨木化の取り組み・・・オフィス用品の木化を推進でCO2削減(エコ)
室内を緑化と木化で内装する、室内緑化、机上緑化(エコ)
- ⑩走る・歩く・登る、健康への道を進む(健康)
- ⑪ワーカーズ発電所ができるのを機に家庭の電気をみんな電力に切り替えよう(エコ)

エコスタイル
ワーキング
グループを
つくる

Withコロナ時代に対応した本部移転の検討に入る

環境負荷の少ない本部づくり(エコ・スロー)

- ①統合本部が移転できる可能性をワーキンググループで議論
- ②統合本部が移転できると再エネ化も脱炭素もエコライフスタイルも実現できる
・・・ゼロエネルギーが提案できる、LEDに変えられる、自然エネルギー電気への切り替え、小農ができる畑、オフィス緑化、養蜂ができる環境などが実現できる。

統合本部分散化でコミュニティ経済を(ローカル)

- ①職場と住まいを近づける
畑のあるような自然に近い環境に、本部サブ拠点となるサテライトを点在させる
防災拠点としてサブ拠点は電気、井戸水、食料をできるだけ自給するように
日々の池袋本部との関係はリモート自動接続
- ②古民家活用、家賃の減額
- ③サブ拠点で、みんなのおうち構想を

オフィス検
討委員会
で議論し
てもよい

【2020年度 未来人財部方針より抜粋】

①入団時研修等における、「協同労働と自然」「健康管理と、働きやすい職場づくり」

「(エネルギー負荷の少ない町への視察調査研修)」
など、関連するテーマ・内容の研修の充実。

・オンライン研修の充実(交通機関での移動量減-CO2削減への貢献)。

・オンライン研修の内容に、「気候危機問題」や「エネルギー」「小農」「健康」などのテーマを必ず組み込んでいく。

②組合員の定着と成長に向けた学習・研修の抜本的強化
業種の枠を超えたつながりと、自然(体験)を組合員の成長につなげる事を重視する。

・小農、エネルギー、木育、遊び、文化などを日常活動に取り入れ、命に関する感性を高めていく。

【総務部2020年度方針より抜粋】気候・環境危機に対する具体的アクションをおこす。

・すでに取り組んでいること(イチゴ、ベビーリーフ、ハーブ、パプリカ大葉など家庭菜園・ベランダ菜園で育てる、ぬか床で漬物をつくる、部としてタマビルの電気・照明の切り替え提案やWeb会議・ペーパーレスの推進)を継続する。



災害に備えよう！

防災 「移動式・蓄電池 太陽光システム」 ワークショップ

これがあれば携帯電話200台充電できます！
みんなで実際にこのシステムをつくってみて、
いざというときの電気について考えて学ぶ
ワークショップです。

2020/02/02 Sun

| 1330PM to 1700PM |

@ワーカーズ本部（池袋）

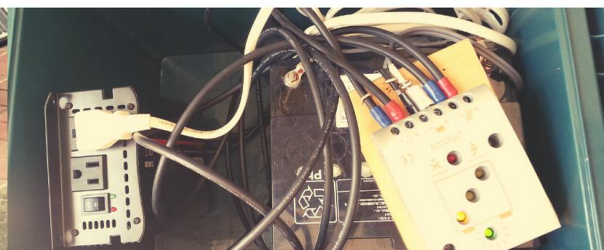
参加費・資料代：1,000円

会場：日本労働者協同組合 本部8F会議室
豊島区東池袋1-4-3 7 池袋ISPタマビル8階
JR池袋駅「東口」 徒歩7分

主催：ワーカーズコープ 芝山あぐり〜ん

共催：NPO足元から地球温暖化を考える
市民ネットえどがわ

申し込み先：agreen-s@roukyou.gr.jp



ポータブル電源（蓄電池）

環境・気候非常事態宣言から環境経営を見据える

Total planning
development

2020年1月31日ワーカーズコープ連合会は「環境・気候非常事態」を宣言した (日本の事業体としては はじめて)

1、総括

- 環境・気候非常事態を宣言した団体として、森林事業やBDF事業などの取り組みは大きな見直しが図られる。
- 事業本部・事業所は地球環境に負荷をかける経営からの脱却を考え、大分岐の時代にアクションする10年を見据える。
- また以下のような環境をめぐる学習会が大きな意味を帯びてきたといえる。

2、概要

①環境をめぐる学習会など

- 7/8 林野庁「木育の事例集」に広島ぶんぶんが掲載された QR⇒
- 11/7 石巻の高校「地域の産業学習会」で講演「森林の現状と大切さを知ろう」と森の健康診断
- 10/20 長野市災害支援 あぐりん東京のバイオ燃料 発電機を持ち込み電源確保
- 2/2 防災「移動式・蓄電池 太陽光システムワークショップ」/あぐりん芝山
- 2/7 峡田第五小学校で環境教室/あぐりん東京



②みんな電力との提携とCo2削減

- 6/5 ワーカーズコープ×みんな電力 提携記念トークセッション QR⇒
- コミュニティエネルギーで、自然エネルギー100%を目指すとして提携開始を記者会見
- 結果として、この1年埼玉を中心に43か所が再生可能エネルギー由来の電気に切り替えた。



③地域の防災・減災と低炭素化を同時実現のために

- 2018年7月西日本豪雨、9月北海道胆振東部地震とブラックアウト。
2019年房総半島台風、東日本台風と災害は日常化し止まらなくなった。
- 2016年熊本地震、2017年九州北部豪雨を経験した九州・沖縄事業本部は防災力強化を実現
事業本部に発電機・ラジオ、スコップ、シャベル、ヘルメット、車に貼る災害用ステッカーを用意

3、代表的な例

環境をめぐる学習会



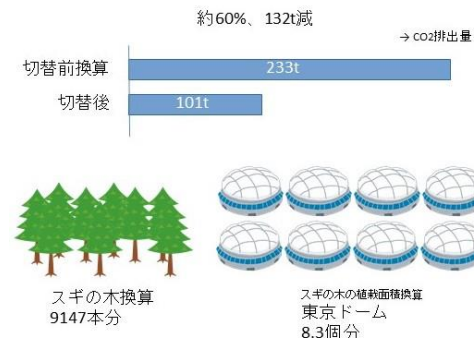
あぐりん芝山が
主催の太陽光・蓄
電システムワーク
ショップ(上)

小学区で環境教室
を開催する
あぐりん東京の
黒田さん(下)



みんな電力と提携

- ・再生可能エネルギー 8割で
発電するみんな電力への移行
をはじめた。
- ・みんな電力と提携すること
で、杉の木9147本にあたる
Co2排出量132tの削減
につながった。



災害前、平時も

災害が起きる前にできること
電気
水道
火
食

災害発生時

災害時 非常時の体制
電話 通信 SNS

災害後

災害後の復旧、復興
屋根、瓦、
ソーラーパネルのメンテナンス
共済
協同

事業所が防災拠点になろう

そして 再び 一部 本部移転を考える
脱東京を進め東京一極集中からの打開
この10年が岐路となる
西日本本部のような、本部機能の移転を本格検討
札幌移転と移転のすすめ
レスキュー隊

自治体に気候危機宣言をしてもらおう

ワーカーズコープのエネルギー事業の位置づけ

Total planning
development

自然エネルギー100%を目指し、コミュニティエネルギーで循環する

1、総括

- 2018年7月西日本豪雨、9月北海道胆振東部地震とブラックアウト。2019年房総半島台風、東日本台風と災害は日常化し止まらなくなった。
- 気候危機の問題が明らかになり、脱炭素化をどう実現しうるのか。防災・減災と脱炭素を両立する防災拠点づくり。
- BDFは環境負荷をかけないエネルギーとして「バイオ燃料」として再考。
- ワーカーズコープ発電。太陽光発電＋蓄電システムの波及は急務。

2、概要

①BDFのエネルギー循環

- バイオ燃料をセンター事業団内部で循環させ、利用促進を図るための助成制度が2年目終了。依然として車両に給油する困難さがついてまわった。

②BDFと発電機

- 環境省「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」を実現すべく、ヤンマーBDF発電機を城南信金、西桂町、国分寺市などに入れようと模索した1年。これは新年度以降に持ち越しとなっている。

③ふじみ野そらまめに太陽光発電設置

- かつてより廃天ぷら油を集めるなど環境活動が盛んだったそらまめ。2019年度7月。電気は自然由来のみんな電力に切りかえた。

今度は自らが発電所になる。デイサービスそらまめの屋根を使った太陽光発電所づくりがはじまった。地域からの出資も募り、無事に完成。

- 今後、そらまめに続く発電所づくりが期待される。

3、取り組み例

BDFと発電機

導入を目指しているBDF発電機。発電とボイラーの役割を果たす。



太陽光発電

借家だが、大家さんの了解を取ってソーラーパネルを載せることにした



森と自然の学びプロジェクトから出発した様々なプログラムを展開

1、総括

- 子育てやケアの仕事から、林業、農業などの一次産業まで、様々な事業に取り組んでいるワーカーズコープの特徴を活かす。
- 森や自然の学びと、子育てやケアをかけ合わせた、多様な実践を深めていくプロジェクトを展開。
- 但馬地域福祉事業所Next Green但馬の木のおもちゃや丸太プールを子育て現場が使うことを契機に、各地で「森林×子ども」のコラボや木質化がはじまった。
- 木育、フォレストチャレンジ、子どもの野生復帰、森のようちえん、プレイパークなど自然体験プログラムとそこに算数体感プログラムもコラボして、プログラムが多彩に行われた。

2、概要

①林業チームの木工品を子育て現場に結ぶワーカーズコープ版内部循環

- 9/18 女川⇒板橋の保育園にヒノキのイス(スツール)が送られる
- 7/8 但馬⇒板橋の保育園で、丸太のプール作りが行われました
- 女川⇒塩釜の学童クラブにベンチが送られる

②子育てやケアと掛け合わせる新しいデザイン

- 木のおもちゃづくりで子育て現場に導入(但馬⇒板橋)
- 宇都宮事業所の「おままとせっと」が東麻布保育園へ
- パズル、木の看板づくり、療育用教材づくり

③体感・体験プログラム

- 各地で自然体験プログラムが行われた
仙台、登米、浦安、君津、福生、辰巳、西桂、松本、多治見、但馬、
西山、広島、霧島、奄美・・・
- 10/1さんすう体感プログラム 日本数学検定協会とのコラボ
新田学園第2学童にて

3、取り組み例

木製品の内部循環

木を切り倒すところから丸
ごと手作りのスツール
(左)
こぶし保育園で丸太プール
を作成中 (右)



子育て×木のコラボ

木材の温かさを感じられる
優しい肌触りのおままと
セット (左)
子どもを取り巻く環境に本
物の木工品 パズル (右)



体感・体験プログラム

竹でつくった滑り台を楽し
む豊岡市の子どもたち
(左)
20mを20秒で歩くと秒速1
mです。さんすう体感プ
ログラム。(右)



グリーン・コミュニティ・ラボ主催

本部8Fを みどり、花、木で覆いつくす ワークショップ！【開催】

ビルの中を思いっきり森のようにしよう！

第1弾
8Fエレベーター前



①回目 4月23日(月)
16時より開始

②回目 4月25日(水)
17時半より開始



『とんかち・ノコギリ持ってきて』

間伐材を利用した
棚をつくれます
組手仕(くでじゅう)

『みどりで彩る』
植物や花で
ロビーを彩ります

『みんなでつくる』
ワークショップ形式で
全員参加の舞台づくり



ワーカーズコープ グリーン・コミュニティ・ラボ

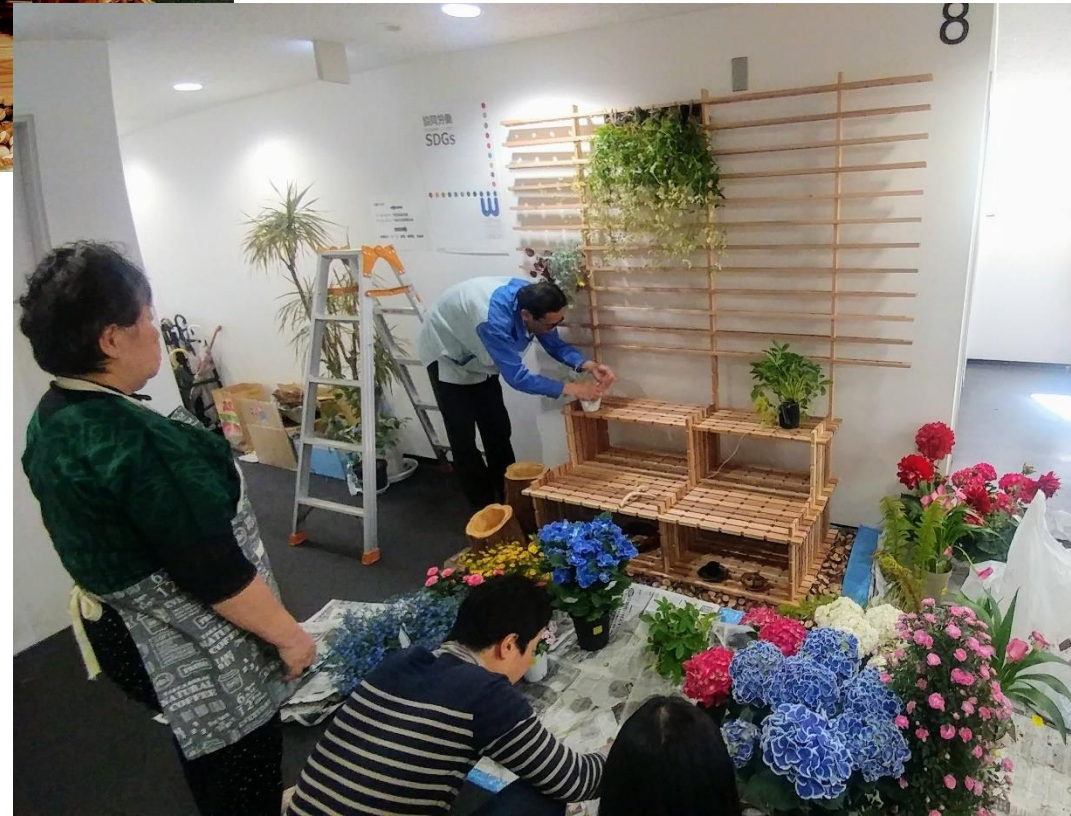
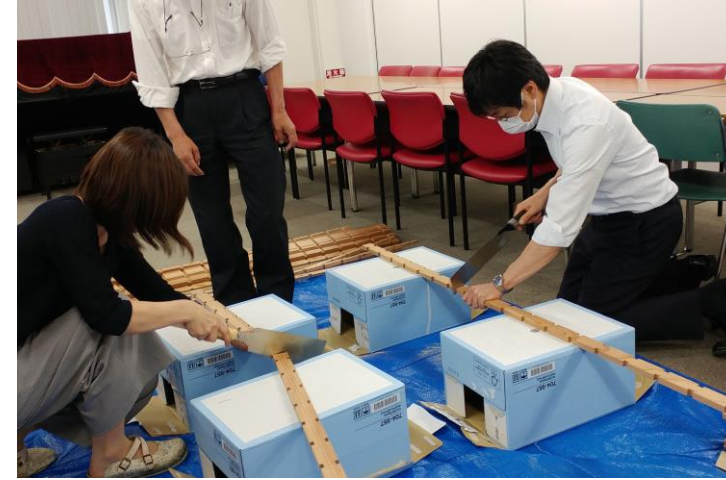
お問い合わせ
ワーカーズコープ SDGs推進本部 & 事業推進本部
電話: 03-6907-8032
メール: j-suishin@roukyou.gr.jp

参加申込みは
こちらまで

協同労働
みんなの未来 — ともに。
SDGs

目標: 5月12日
協同組合学会が開かれ
るまでに完成させます







グリーン・コミュニティ・ラボ





年間240トン分
CO₂ (275本分の木に相当)
削減効果



いけぶくろ SDG s



蓄電



発電



苔栽培

光合成

化石賞 NO

苔は！
CO2 吸収
↓
酸素排出

苔テラリウム



ゴミ NO
空き瓶を
リサイクル



内職

商品づくりには食堂に
来るサポステの利用者
や高齢者など

販売



苔を買取
100 g ¥150



苔採り
しごと

苔採り名人
ホームレスおっちゃん



苔が大量の公園で寝泊まり





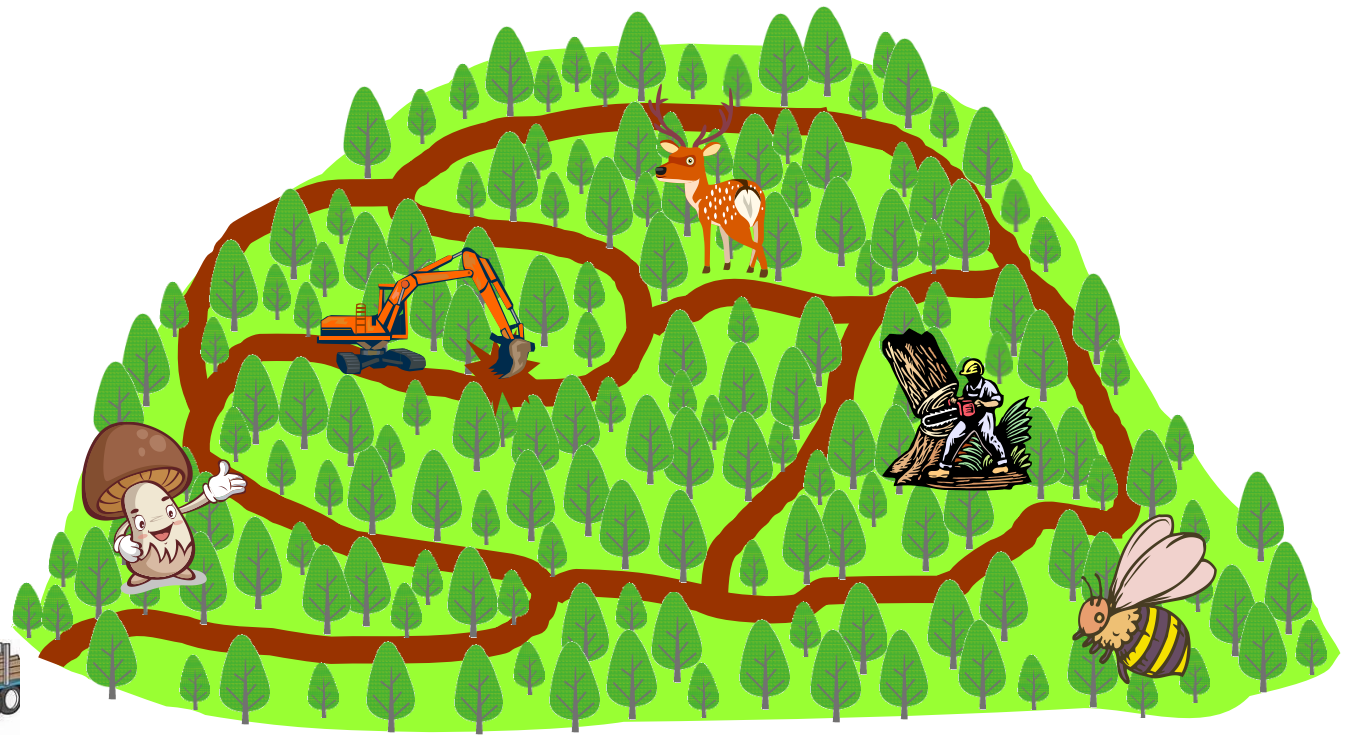






今、森林はチャンスに満ちている

- 今、森林に感心を向けるチャンスに満ちている。
- 日本林業も復活の好機を迎えている。
- 日本の面積の7割は森林です
- 森林面積の4割は杉、ヒノキの針葉樹
- 。あわせて1000万ヘクタール。日本の木材自給率は長らく輸入木材に押され2002年18%だったがこれを底辺に昨年度には36.6%。**森林環境・譲与税**も創設され、年間600億の新財源。これは二酸化炭素排出削減を森林に頼ることを意味している。
- 2013年の水準から26%減らす
- 森林による吸収量で26%削減



森林サービス産業

- 森林サービス産業は昨年から
- これからの森林の使い方を構想している。
- ワークスでもやってきたこと
- 森林×子育て、福祉、教育、観光、健康



- 街でやってた事と森でやってた事を組み合わせた「森林サービス産業」を創造しよう
- 例えば健康経営
- 失われた時間を取り戻す町
- 「ドイツでは森に行く処方箋を書く医者もいる」と語るのは、さとゆめの浅原さん。長野県信濃町はエコメディカルヒーリングビレッジ(癒しの森)事業を確立。森林メディカルトレーナーを町が主催さそ、町民が育成講座を受講。町には癒しの森の宿認定された宿泊施設があり、疲れた企業の方に来てもらっている。そこにけんぽ組合も費用負担。
- TDKラムダは信濃町に社有林5.1haを持っており、2007年から「森林の里親協定」を結んでいる。
- TDKラムダの関本さんは、新人研修を森でやる事にしていて、3ヶ月間、森で過ごす新人研修をしていますと言う。
- 内容は森林セラピー、そば打ち、オブジェ作成、コミュニケーションキャンプ、橋をかけるワークショップ、アートセラピーなど、非日常の森でしかできないことを12年間続けている。
- 「工場の一角でやってた研修を森でやると、たまたま離職率が下がった」そうだ。
- 効果として「メンタルの健康づくり」になった、「ストレスの逃がし方」、「連帯感の醸成」などが挙げられた。
- TDKラムダのように森で研修する企業は35社に登ると浅原さん。

- 木こり屋ブンブンバウム たき火会、火遊び、森を遊びつくす大人旅
- NextGreen但馬 子どもの野生復帰、ウッドワイルド
- 森での体験・体感プログラム
- 松本、仙台けやきと登米、岐阜多治見、君津プレーパーク、福生プレーパーク、西桂、宇都宮、熊本、さんいんみらい
- 長野市、君津市 アロマ
- 森の宿泊施設を有する富山

3 ブンブンバウムの取り組み

(1) 森林体験イベント『森を遊びつくす大人旅』実施

- ・“グランピング”をテーマに、森を楽しむイベント(1泊2日で2万円)
- ・一場木工所、エトセキャラバン(イベント企画会社)と共催
- ・20代から70代まで男女20名が参加



→他社と共催することで、“林業”からの視点にとらわれない、“新たな山の価値”を提案

健康経営、アロマ

- 保健農園ホテルフフ山梨春日さん、精神メンタル自殺、
- リトリート(逃避・避難)、森の人へお金落ちるのか、
- 太陽生命の森が高島市と那須塩原にある、クアオルト

- 落合さん、森林サービス産業の森林エビデンス、infom、
- 健康問題を解決する森林、
- あの温泉は肌にいいみたいに
- 竹林は血圧さげる？

- 山田村、古堂の森、白山
- 宿泊施設をやっている
- 信濃町、富士山

- Forest
- ふおー レスト



- Fsx 藤波はおしぼりレンタル業をしていたが、おしぼりって、疲れや癒しに役に立たないか？という考えた時に飛騨高山にて日本産アロマに出会った。
- 現在心と体の森のおしぼりプロジェクトを社内で展開。朝礼ではニオイコブシを振りかけたおしぼりですっきりすと、終礼ではクロモジで落ち着く。さらにミズメザクラはオイル塗り、疲労した肩を和らげる時間をつくっている。
- 日本産天然精油連絡協議会の稲本さんは、丸太だけ使って、枝葉を捨てているのはもったいない。いま20種類の日本産アロマがあるのがわかっている。フレーバー(食べ物の味付け)とフレグランス(香水シャンプー)があるが、日本はフレーバーが多い。
- 日本は地域的にもアロマが多く取れる国。同じと思っていたクロモジも4種類あり、普通のクロモジに大葉クロモジ、毛クロモジ、姫毛クロモジ(南部)。
- 生命と人間、森林がつながる、アロマ環境協会など10万人この人を森へ、成分分析とトレーサビリティをしっかりとる、クロモジとったり、植えたりツアー
- 朝礼で体操&ニオイコブシ嗅いでスイッチオン、、終礼は黒文字でオフ、
- 森林サービス産業のForestStyleネットワークには
- 労協連合会と木こり屋ぶんぶんが会員に
- スピリチュアルでなくエビデンス、大手はエビデンスもそうだが、環境に配慮しているかも問われる
- 木下、環境税できて、たくさんの人に森林に関わってもらわないとならない、

インクルーシブ公園(森林公園系)



- インクルーシブ公園の森林体験
- オーストラリアの最新の公園事情を聞いた。公園といっても日本でいう森林公園をイメージするとわかりやすい。
- オーストラリアから来たデポラさんはパークス ビクトリア(ビクトリア公園)の公園管理官。
- パークス ビクトリア設置は自然研究、市民参加、ツーリズム、アボリジニの4大カテゴリーからなる。ヘルシーパークでヘルシーピープルを。生態系が健康な人をつくる。経済成長にも重要と、その理念の細目が並ぶ。
- インクルーシブ公園では、象徴的なアダクティブマウンテンバイクで公園の道を進む人たちがみられる。これは悪路でも進む車イス。エンジン付きトレイルライダーで山登りが出来たりもする。
- 身体障害者の公園へのアクセスとインクルージョンを考え、ユニバーサルデザインを公園設計に入れているし、視覚障害のガイド、トイレの整備。
ネットでもそれがわかる情報が豊富。車イスで動ける公園という情報や、駐車場、トイレ、ピクニックテーブル(車イス対応)の情報が写真つきで予め調べられる。
- そこに行き着くまでには公園利用者と意見交換が欠かせなかったという。公園でどんな事をしたいか、公園で泊まれる障害者用宿泊施設をつくりたい、キャンプをしたいなどが実現できている市民参加。
- なかでも良かったのはトレイルライダーですね。私の体験上、宇都宮で車イスの方を森にお連れした時に結果として林道を進めなかった経験があります。
トレイルライダーは、どんな地形でも走れる車イス。オーストラリア国内11カ所の公園で無料で使えるし、ボランティアも2人必要ですが、研修制度と予約システムも作ったそうです。調べると日本にも一件、岐阜にありそうです。
- アドベンチャー、休息、レクリエーション、散策、交流、社会参加、健康づくり、リハビリとして、どんな人でも楽しめるインクルーシブ公園。日本でも可能か。

防災拠点化プロジェクト(案)

2020年度 事業計画案

Total planning
development

防災や気候危機の問題から、様々なプロジェクトを展開

防災×エネルギープロジェクト



緊急時
B D F 給油巡回出動

- ・日常的に自家発電による電源確保
- ・ガスの代わりも確保
- ・定期的に太陽光ワークショップで家庭への普及

福祉輸送×防災プロジェクト



福祉輸送が課題の町
防災拠点づくりに絡め、
移送問題も解決したい

九州・沖縄事業本部の防災・減災対策

平時はキッチンカー、非常時は炊き出しキッチンカー



発電機・ヘルメット
シャベルを常備
事業本部・事業所が
日ごろから防災拠点へ

防災×子どもプロジェクト



福祉マップづくり

児童センターが
公民館を核にした
防災の地域づくり
炊き出し予行演習の実施

本部も防災委員会を開催

統合本部消防計画策定
統合本部防災計画（帰宅困難者対策）
BCP（事業継続計画）
学習・視察
蓄電機設置

事業本部・事業所で備える
「モシモ」から「イツモ」

食品

水（飲料水、調理用）
野菜ジュース
主食（麺、レトルトご飯）
主菜（缶詰、レトルト食品）
缶詰（果物、小豆）
菓子類（チョコレートなど）
栄養補助食品
調味料（塩など）
※ 備蓄ラインは1週間

経験上重要だったもの

水、簡易トイレ、充電式ラジオ
カセットコンロ、ガスボンベ
懐中電灯、キャンドル
ビニール袋
常備薬
乾電池
食品包装ラップ

生活用品

ナイフ、カイロ、生理用品、
携帯電話バッテリー
救急箱、ライター、
ラテックス手袋
ティッシュペーパー、
ウェットティッシュ衛生
クリーンキラー
ぬか床

ゼロエネルギーの取り組みへ



クリーン自動車の導入
事業本部が移転し小農や
発電ができる環境創出
無茶々園のゼロ
エネルギービル

LES ローカル・エコ・スローのインフラづくり 2020年度 事業計画(案)

Total planning
development

社会のあり方の抜本的な転換を追求し、自らの事業・経営と組合員の生活の中から、地球環境と生態系を守るための行動と、持続可能な地域と社会の実現に全力を尽くす

➤ 脱化石燃料で脱炭素化の環境経営

➤ コロナ パンデミックと健康経営

環境・気候危機+健康のアクションプラン

1) ローカル・エコ・スロー

- 小農で健康経営・・・畑づくり、生きがい仕事、自給圏づくり→ 自給調理、米ぬかとぬか床、みんなのおうち
- 免疫力を高める健康・・・発酵、貯蔵、燻製、薬用植物、クロモジ茶、米ぬかとぬか床、脱（農薬・化学肥料・遺伝子組換え）
- グリーンインフラ・・・家庭内のグレーインフラは「冷蔵庫」、家庭のグリーンインフラは「ぬか床」
- 森林×サービス産業（生態系サービス）・・・森林浴でストレス減、竹林で血圧減、クロモジの抗ウィルス性+インクルーシブ公園
- 防災と脱炭素化（緑化・木化）の同時実現とIT化の推進・・・電気の自給、事務机・役員室の木化・緑化
- 会議等で、ペットボトルからクロモジ茶への転換で環境と健康
- ふじみ野そらまめに続く発電所づくりで電気の自給と脱化石燃料
- 都市農業と地方の耕作放棄地を利用したみんなの農園・みんなのおうち
- 地域課題と結んだ鳥獣被害に対する「またぎワーカーズ」の結成
- 森林環境譲与税を活用する 各自治体への提案
- クリーン自動車と発電

2) 各地域未来プロジェクト

夕張、登米、石巻女川、大崎、那須、深谷、芝山、東京山梨、報徳、山田
但馬、さんいんみらい、広島、西予明浜、鹿児島でモデル化を検討
地域未来産業 実践 交流会を年3回開催



家庭用の電気はここから
変えられます！



3) 脱化石燃料

- みんな電力に切り替えよう
自然由来エネルギーに切り替える事業所も家庭も
- バイオ燃料を環境経営の見本として推進

4) リース事業計画

特殊用途車両（福祉車両等）のリース **ワーカーズコープ専門申し込み窓口**
事業所間の車両のやりとりについての支援
古物商の取得による、完全自前での車両調達
リース事業を事業所の部門にすることの検討

5) デザインで経営改革

2019年度「深谷とうふ工房」が、新宿高島屋地下1Fのグルメスクエアに出店。
森の菓子工房（所沢）では焼き菓子コンテストにて埼玉県洋菓子協会賞を受賞。
このようなきっかけづくりやデザインで経営を考えることを検討

6) 新しい働きかた図鑑 部を超え事業本部の参加で進める

7) 防災拠点化プロジェクト（案）詳細は次ページ以降

8) 体験・体感プロジェクト 詳細は次ページ以降

9) 開発研究事業（ひかり情報技術）（案） 詳細は次ページ以降

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会ホームページ

<https://jwcu.coop/>



新しい働きかた図鑑

<https://workstyle.roukyou.gr.jp/>

FB ワーカーズコープオンライン通信

<https://www.facebook.com/workerscoop>

